

日本での交換留学

アンカラ大学

アキユズ・ゼイネプ・セナー

学籍番号 2490060

日本での交換留学が終わりに近づく中、かつて永遠に続くように感じたこの経験を振り返ると、感謝とともに少し寂しさも覚えます。私は去年、初めてトルコを離れて日本に来ました。未来への期待で胸がいっぱいでしたが、予想以上に大変なこともありました。知らなかった感情と向き合い、自信を失いそうになった時もありましたが、日々の生活に少しずつ慣れ、毎日を楽しめるようになりました。東京での一年は、多くのことを学び、心に残る時間でした。

お茶の水女子大学での最初の学期は、日本での生活に慣れるための大切なステップでした。授業では日本や自国の文化について学び、日本語を実際に使う練習にもなりました。春学期は、日本語力向上を目指して、自分を試す気持ちで授業に取り組み、知識とともにいろいろな国の友達との交流も得られました。



また、茶道や着物などの文化活動にも参加し、専門の先生方から貴重な体験をさせていただきました。タンデムプログラムでは、英語・日本語でプレゼンテーションを行い、毎週の交流が学びの大事な一部となりました。授業外の時間は、植物園や美術館を巡り、京都・大阪への旅行では日本の伝統文化に触れることもできました。

留学中に目標としていたアルバイトも経験できました。最初は日本語を使う練習ができれば十分だと思っていましたが、職場での出会いや経験はそれ以上のものでした。言葉だけでなく、日本の働き方や人間関係も学び、支えてくれたリーダーさんのおかげで、自分に自信を持てるようになりました。

最後に、この一年を支えてくださったすべての方に心より感謝申し上げます。西阪先生、

市原先生、国際教育センターやAA 国際オフィスの皆さま、授業を担当して下さった先生方、音羽館の管理員の方々、本当にありがとうございます。また、アルバイト先の皆さん、そして共に思い出を作ってくれた友人たちへ。この一年が忘れられない時間になったのは、皆さんのおかげです。

